

梅若会定式能

能羽

衣

和合之舞

松山 隆雄



狂言 附子

山本泰太郎

山本 則孝
山本凜太郎

能藤

戸

梅若 紀彰



二〇一九年四月二十一日(日)

午後一時開演(正午開場)

梅若能楽学院会館

自由席 七、〇〇〇円

松山 隆雄
和合之舞

大日方 寛

亀井 実
曾和伊喜夫
小寺 佐七
幸弘

後見 角当 直隆
小田切康陽

山崎 友正
山中 正晶
井上 療治
鷹尾 章弘
山崎 友正
山中 正晶
鷹尾 章弘
行雄

附子

山本泰太郎

山本 則孝
山本 稜太郎

箆 笠ノ段
国 栖

鷹尾 章弘
山崎 正道
山中 景晶
川口 晃平
地謡 角当 直隆
山中 直晶
小田切亮磨

《休憩十五分予定》

戸

梅若 紀彰

宝生 欣哉

柿原 崇志
幸 正昭
梶宅 聡

間山本 則秀

後見

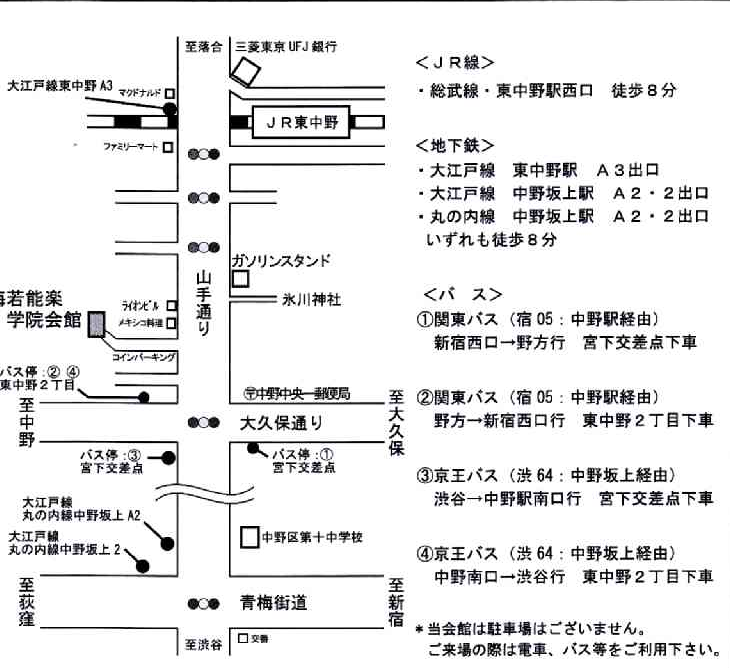
松山 隆之
梅若長左衛門

地謡

梅若雄一郎
土田 英貴
井上 和幸
内藤 幸雄
川口 晃平
山崎 正道
梅若 和幸
会田 昇

『羽衣』駿河に住む漁師白龍が漁の帰り、三保の浦で松の枝に掛る一枚の美しい衣を見つけ持ち帰ろうとする。そこに一人の若い天が現れ、その衣は天人の羽衣なのでその羽衣が無ければ天に帰ることができないと悲しむ。白龍は嘆く天女を哀れみ、天上の舞楽を見せてくれれば羽衣を返そうと話しつつも、羽衣を渡したら飛び去るのではないかと疑う。天女は疑いは人間にあって天に偽りは無いと答え、羽衣を身にまとうと世にも美しい舞を舞う。天女はなおも花の降り下る中で東遊の舞楽を舞続け、やがてその姿は富士の高嶺をこえ高く大空へ舞い上がり消えていく。

『藤戸』源氏の将佐々木盛綱は藤戸の海峡を馬で渡り、平家討伐先陣の功により児島を賜る。領主になった盛綱が領民の声を聞く場を設けると、一人の老婆が盛綱に息子を殺されたと涙で訴える。盛綱は藤戸の合戦の折、誰も知らない浅瀬を漁夫から聞き出し、他言を恐れその漁夫を殺したと打ち明ける。すると老婆は殺された漁夫こそ息子だと言い、悲痛のあまり自分も殺してくれと迫るが、盛綱は亡き漁夫の供養を約束し老婆を家に帰らせる。盛綱は漁夫の為に音楽による供養を営み読経すると、海の波間から凄じい形相の漁夫の亡霊が現れ、殺された有様を物語るが経文の功德で成仏していく。



〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-14
公益財団法人 梅若会 (梅若能楽学院会館)
TEL : 03-3363-7748 FAX : 03-3363-7749

【観能チケットについて】

- 1. 自由席 7,000円 指定席 8,000円 学生席 3,000円
- 2. 賛助会員券 (定式能) および自由席をお持ちの方は 1,000円プラスで正面のご希望のお席を確保いたします。公演1週間前までにお電話にてご予約下さい。準賛助会員券 (梅流会) をお持ちの方は 1,000円プラスで自由席にてご観能可能です。
- 3. チケットはお電話、またはファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。TEL 03-3363-7748 FAX 03-3363-7749) なお梅若会ブログにても受け付けております。(パソコン: http://umewakanoh.exblog.jp/ 携帯: http://mblog.excite.co.jp/user/umewakanoh/) 詳しくはお電話にてお問い合わせ頂くか梅若会ブログをご覧ください。
- 4. 都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。*ロビーにて軽食、コーヒー、ケーキ等の販売がございます。皆様ご利用下さい。



文化庁 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術創造活動活性化事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会